

## 令和4年度卓越研究員事業研究計画等

### ① 卓越研究員として取り組みたい研究テーマ

#### <<研究目的・内容（課題設定・問題意識等を含む）>>

本欄には、取り組みたい研究に関する全体構想の具体的な目的及びその内容について記載してください。特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記載してください。

- 研究の学術的又は社会的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、着想に至った経緯、課題設定・問題意識）
- 問題の核心は何であり、どのように明らかにしようとするのか
- 当該研究の背景となる課題設定・問題意識。また、これらによりどのような成果が見込まれるか。また、その成果を踏まえて、どのような新たな研究領域等の開拓につなげていくのか。これまでの研究成果を他分野・業種、あるいは社会的に活用・展開していく場合はその内容。

※なお、卓越研究員の研究内容については、ポストを提示した機関との当事者間交渉の中で機関と調整していくものであり、本欄記述の研究に必ず従事できることを示すものではありません。

※様式の変更・ページの追加は不可とする。

#### 【研究目的・内容】

【研究目的・内容（つづき）】

## ①卓越研究員として取り組みたい研究テーマ

### <<研究計画・方法>>

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について直近2年間の想定し記載してください。特に、次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記載してください。

- ① 本研究を遂行する上での具体的な工夫（研究を進める上でのアイデアの独自性、創造性、新規性等）
- ② 研究室主宰者としての研究体制の構想（ポストドクターや大学院生の配置等も含め、どのような体制で研究を実施することを想定しているか。企業の場合には、プロジェクトのマネージャーとして、どのようにチームをつくり、どのような体制で実施することを想定しているか。）

※様式の変更・ページの追加は不可とする。

### 【研究計画・方法】

【研究計画・方法（つづき）】

## ②多様な研究機関でのリーダーとしての活躍可能性

### <<多様な機関での活躍可能性・自身の魅力>>

本欄には、研究主宰者やプロジェクトマネージャー等の研究リーダーとして、機関やセクター、国等を超えて活躍でき、それぞれの機関で自身が魅力的であることを示す裏付けや自己のエピソードを示してください。

※様式の変更・ページの追加は不可とする。

**【研究リーダーとしての活躍可能性の裏付け・エピソード】**

【研究リーダーとしての活躍可能性の裏付け・エピソード（つづき）】

### ③業績等

#### <<特筆すべき業績・経歴・経験等3件>>

本欄には、今回構想する研究や多様な研究機関での活躍可能性に関連する、2017年以降の特筆すべき業績・経歴・経験等3点以内について、下記の注意事項に沿い、簡潔に記載してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記載する場合は、掲載が決定しているものに限ります。

(例)

- ① 発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記載してください。以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し、他を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。なお、申請者には、下線を付してください。
- ② 大学及び大学共同利用機関以外の機関（企業、公設試験研究機関等）における研究者としての勤務経験、最低3カ月以上のインターンシップの経験、あるいは、海外の研究機関（大学を含む）に3カ月以上所属し、研究に従事した経験など、多様な研究機関での経歴・経験等について、時期（年月を含む）及び内容を記載してください。

※様式の変更・ページの追加は不可とする。

#### 【特筆すべき業績・経歴・経験等3件】

【特筆すべき業績・経歴・経験等3件（つづき）】



### ③業績等

#### <<その他業績・経歴・経験等一覧>>

今回構想する研究に関連する重要な業績・経歴・経験等について、2017年以降の業績を中心に、現在から順に年次を過去にさかのぼり、通し番号を付して記載して下さい。そのうち、前頁までに記載した特筆すべき業績・経歴・経験等（3件）については、該当する番号に○印を付して下さい。

※様式の変更・ページの追加は不可とする。

#### 【その他の業績・経歴・経験等】

(記入例 ※記載項目の構成は変更しても構いません。記入する際は削除してください。)

##### (1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書

- ① 学振太郎、半蔵門花子、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp57-62、2019
- 2) 麴町次郎、学振太郎、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp33-39、2018
- 3) 半蔵門花子、麴町次郎、学振太郎(6番目)、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、千代田三郎(〇名省略)、「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp10-25、2017

##### (2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

- 1) 学振太郎・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp57-62、2019

##### (3) 国際会議における発表

- ① 〇Gakushin T, Hanzoumon H,・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、BB-11、Los Angeles, USA、(June 2018)

##### (4) 国内学会・シンポジウム等における発表

- 1) 〇学振太郎、半蔵門花子、・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、No. 200、仙台、2018年9月

##### (5) 特許

- 1) (特許の番号)号、「(名称)」、麴町治郎、学振太郎、2018年4月

##### (6) その他(受賞歴等)

- ① 学振太郎・・・ 「(賞の名称)」、2018年4月

【その他の業績・経歴・経験等（つづき）】